

最近の管内経済概況

(2024年3月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

○生産活動は、一進一退の動きとなっている。

○個人消費は、緩やかに改善している。

○観光は、改善している。

○公共工事は、減少した。

○住宅建設は、弱い動きとなっている。

○民間設備投資は、増加している。

○雇用動向は、弱含んでいる。

○企業倒産は、件数、負債総額とも減少した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2024年5月20日

照会先：経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L：011-709-2311 内線 2525

E-mail：bzl-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2024年5月現在)

発表月	2023年12月	2024年1月	2月	3月	4月	5月	前月との判断比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生産活動	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	<u>一進一退の動きとなっている</u> (↗)	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	一進一退の動きとなっている	
個人消費	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	緩やかに改善している	
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	
公共工事	増加した	増加した	増加した	増加した	増加した	<u>減少した</u> (↘)	
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は同数、負債総額は減少した	件数、負債総額とも減少した	

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

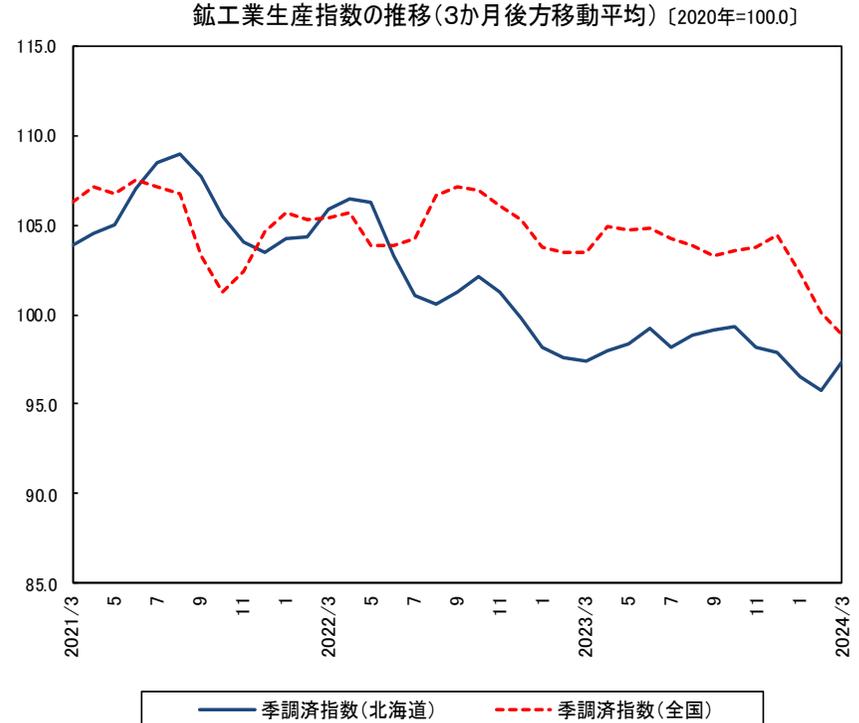
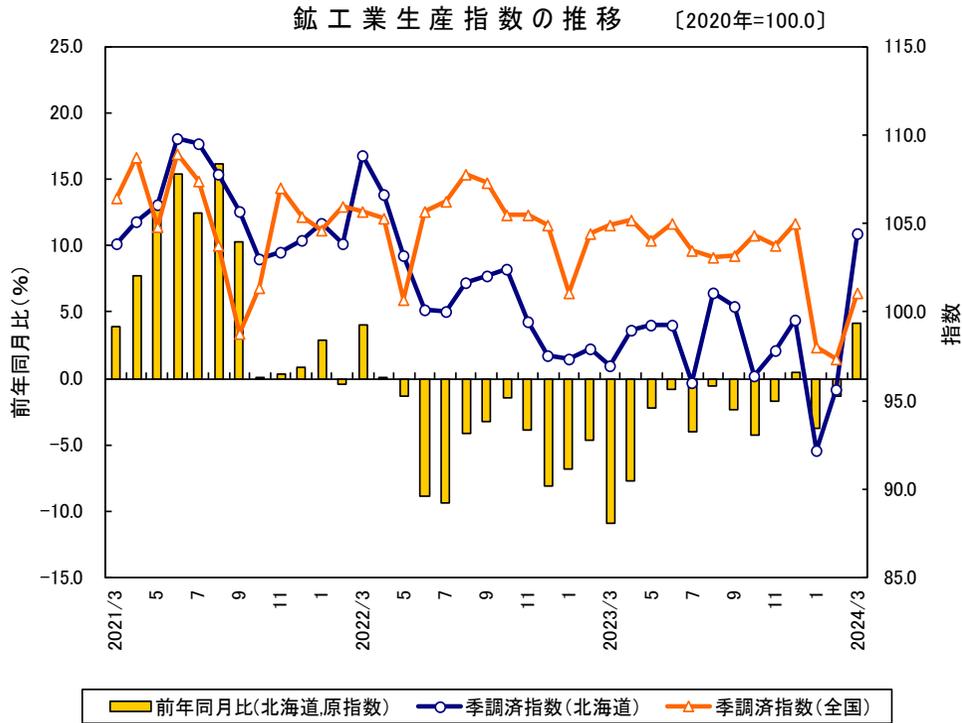
上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている ～

3月の鉱工業生産は、前月比+9.3%と2か月連続で上昇した。前年同月比は+4.2%と3か月ぶりに上昇した。上昇業種は、金属製品工業など8業種となった。低下業種は、化学・石油石炭製品工業など5業種となった。

< 3月 >
 季節調整済指数
 北海道（速報） 104.5（前月比+ 9.3%）
 全国（速報） 101.1（前月比+ 3.8%）

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
上昇 8業種	金属製品工業	+ 60.7	+ 89.9	橋りょう
	一般機械工業	+ 14.3	▲ 0.4	一般機械
	鉄鋼・非鉄金属工業	+ 9.3	+ 1.6	鋼半製品
低下 5業種	化学・石油石炭製品工業	▲ 3.7	▲ 0.5	化学・石油石炭製品



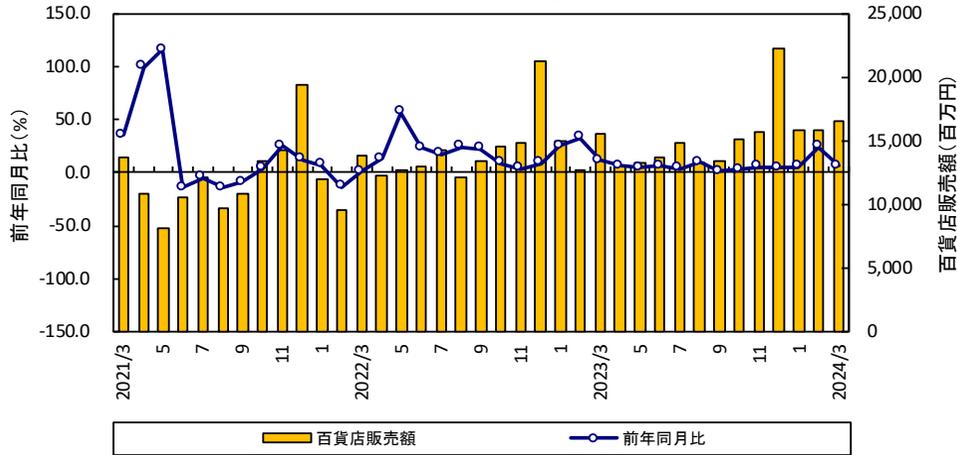
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

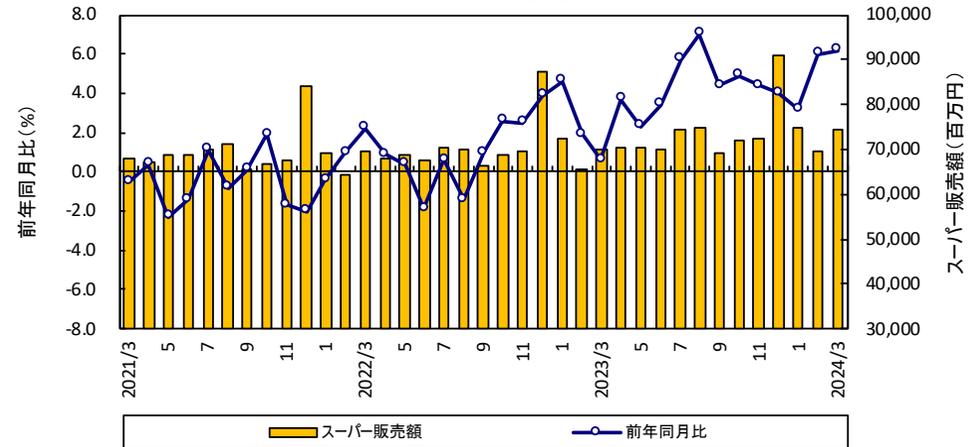
3月の個人消費は、ホームセンターと新車販売が前年を下回ったものの、他の5業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、衣料品と食料品の売上げが好調で、前年同月比+6.5%と25か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品の売上げが増加し、同+6.2%と19か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+0.8%と29か月連続で前年を上回った。

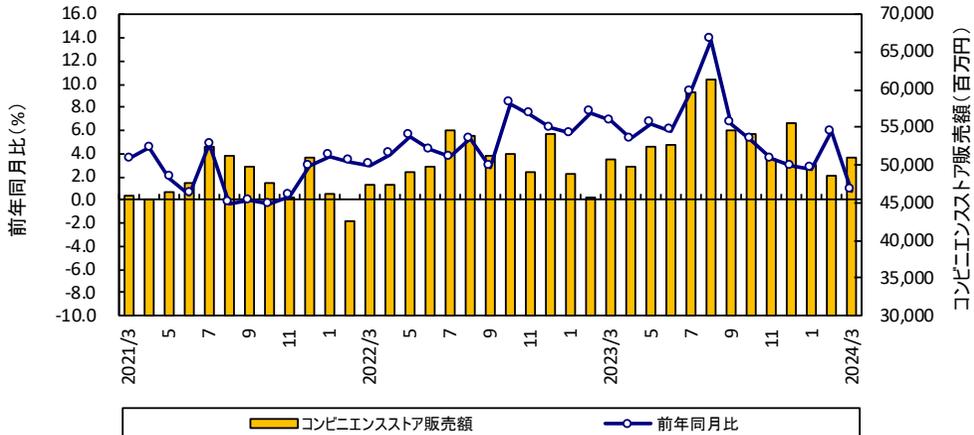
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



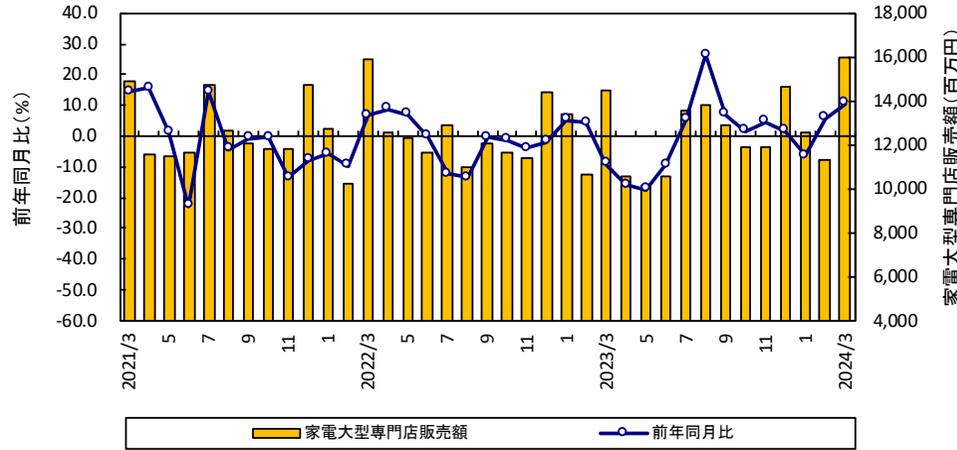
【ヒアリング内容】

- ・高級ブランドなどの売上げが好調だった。食料品の催事が好評で客数が伸長したほか、ホワイトデーやひな祭りなどの年中行事期間の売上げも例年より良かった。（百貨店）
- ・値上げ前の駆け込み需要から、調味料やトイレットペーパーなどがよく売れた。また、値ごろ感があるプライベートブランド商品の売上げが伸長したほか、少量化し買い求めやすい価格で販売している惣菜や水産品などは買上点数、売上げともに好調だった。（スーパー）
- ・前年よりも気温が低く雪解けが遅かったことから客数は減少し、おにぎりや飲料などの売上げの伸びは良くなかった。低価格帯の商品が売れる傾向は続いており、嗜好品であるたばこの買上点数の落ち込みは顕著だった。（コンビニエンスストア）

(資料：北海道経済産業局)

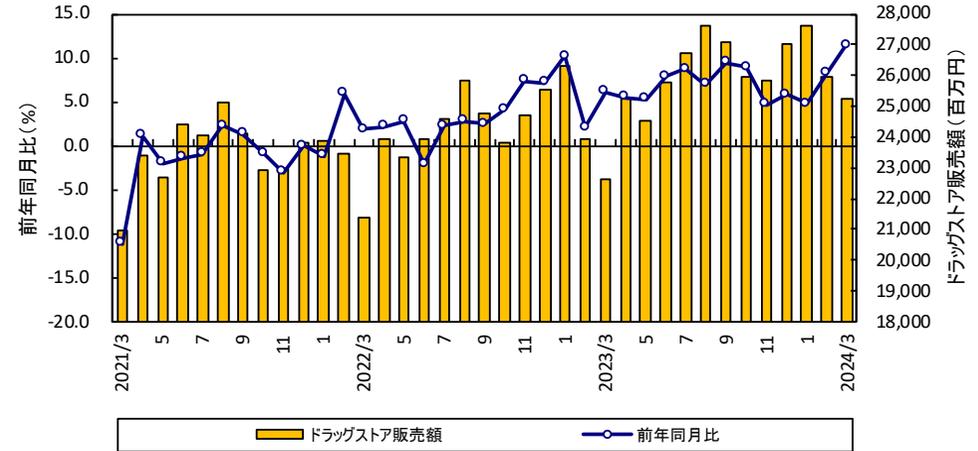
- ・家電大型専門店は、同+10.7%と2か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+11.4%と21か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲5.5%と2か月ぶりに前年を下回った。
- ・新車販売は、同▲17.8%と3か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



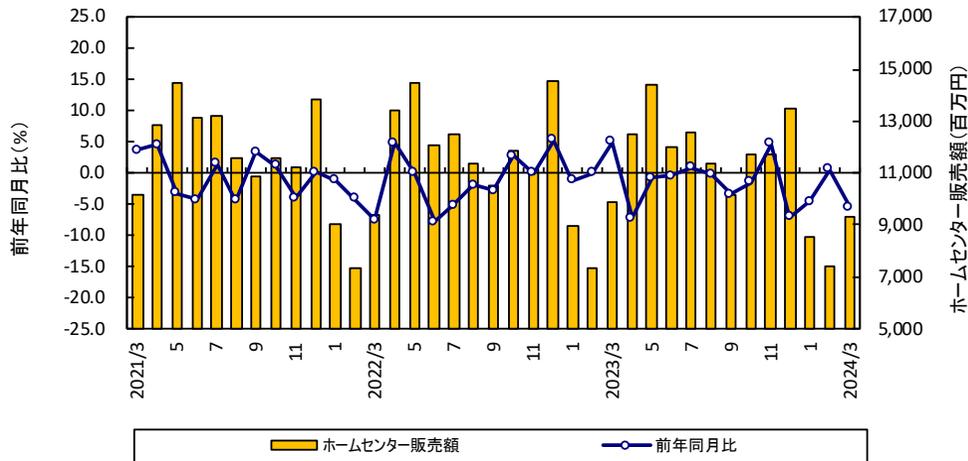
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



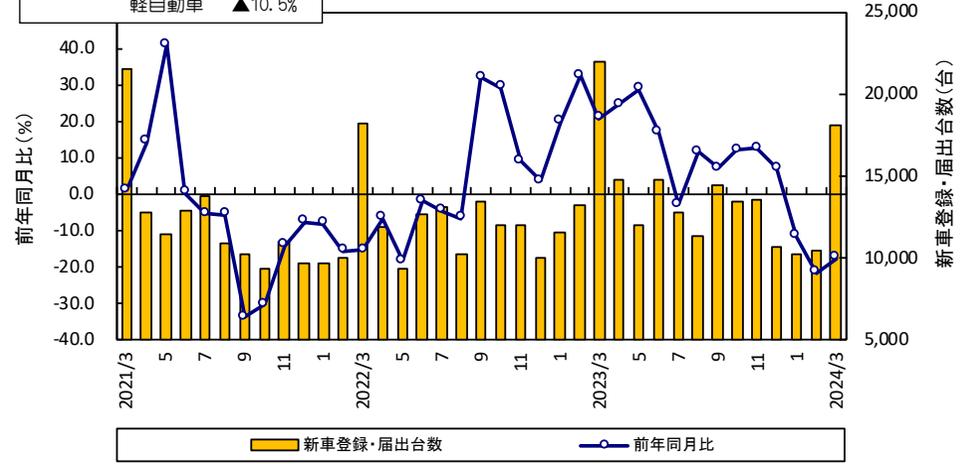
(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<3月> 新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

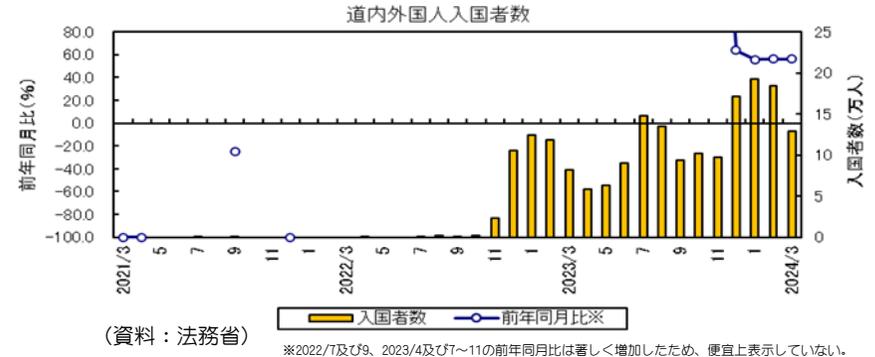
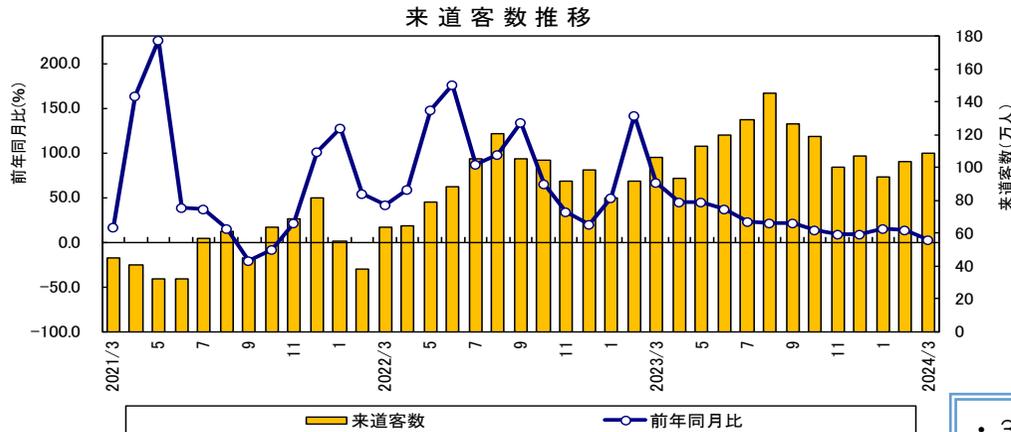
【ヒアリング内容】

- ・前月までに引き続き夏を見据えた購入が続くエアコンと、単価が上昇しているスマートフォンが売上げをけん引した。また、新生活の準備期間であることから一人暮らし向けの洗濯機や電子レンジなどがよく売れた。(家電大型専門店)
- ・アジアンコスメの人気の続いており、化粧品などの売上げが好調だった。(ドラッグストア)
- ・前年よりも気温が低く雪解けが遅かったことから、カイロやファンヒーターなど暖房関連商品の売上げは伸長した一方で、園芸資材やDIY用品は不調だった。また、値上げ前の駆け込み需要からトイレトーパーなどがよく売れた。(ホームセンター)

観光 ～ 改善している ～

3月の来道客数は、前年同月比+2.6%と29か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+56.0%と21か月連続で前年を上回った。

< 3月 > 入国者数 128,680人(+56.0%)



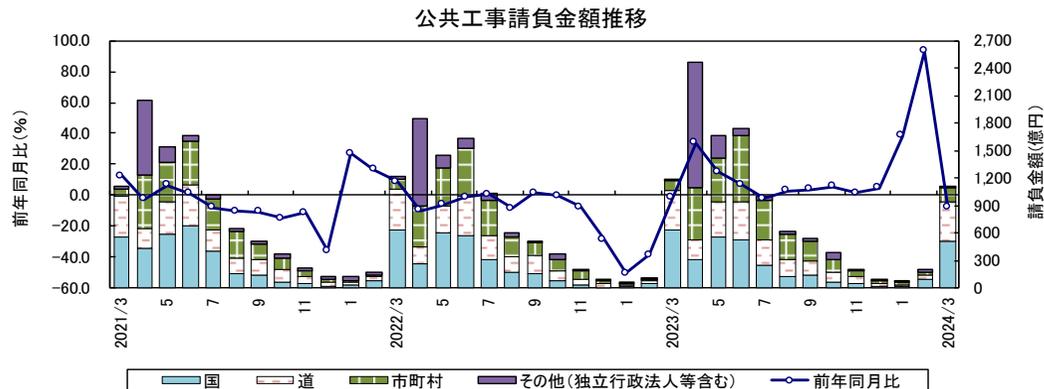
< 3月 > 来道客数 1,086,547人 (+2.6%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

・3月は、イベントや卒業旅行のシーズンであったため、国内・インバウンド問わず多くの観光客がみられ、主要宿泊施設の稼働率も前年より好調だった。4月は、イベントの狭間となるので、来客数は例年それほど多くはないが、全体的な観光客の入込みは前年並みの見通し。(観光協会)

(資料：(公社)北海道観光振興機構)

公共工事 ～ 減少した ～

3月の公共工事請負金額は、市町村は前年を上回ったが、国、道は前年を下回り、前年同月比▲7.6%と8か月ぶりに前年を下回った。



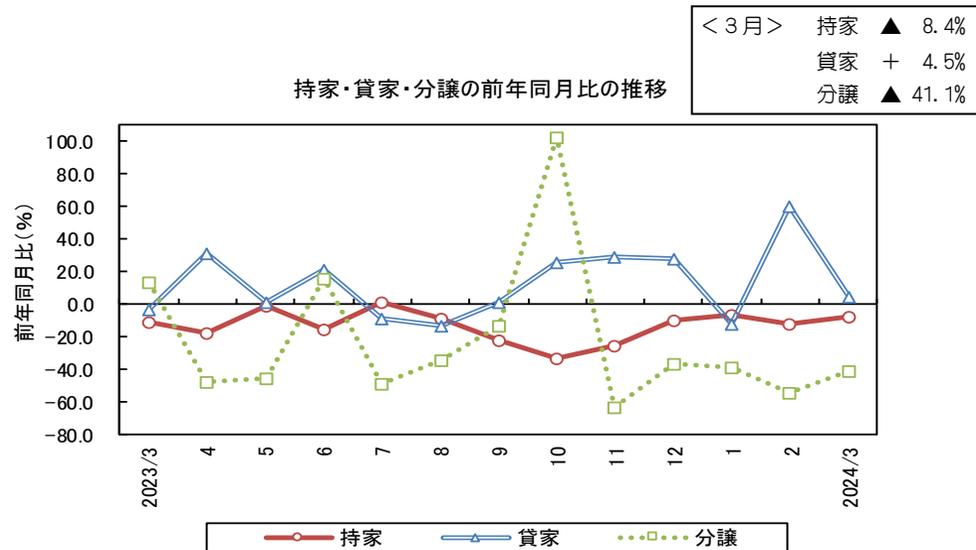
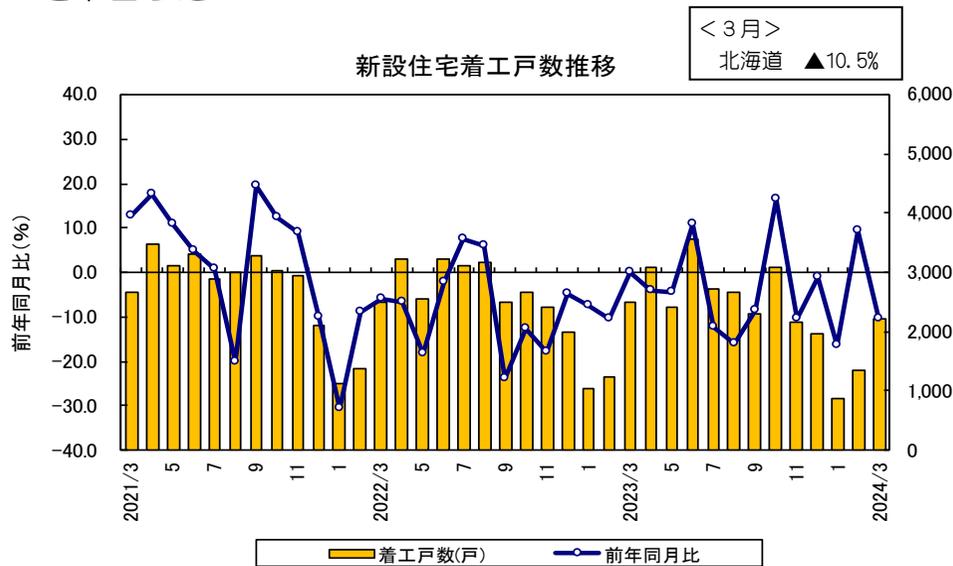
< 3月 >
 北海道 ▲7.6%
 (内訳)
 国 ▲18.1% 道 ▲0.8% 市町村 +35.5% その他 ▲52.1%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

3月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったが、持家、分譲は前年を下回り、前年同月比▲10.5%と2か月ぶりに前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+4.3%と2年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2024年4月1日発表

	2023年度	2024年度
北海道	+ 4.3%	+ 10.9%
製造業	+ 33.5%	+ 22.3%
非製造業	▲ 6.1%	+ 5.1%
全国	+ 10.7%	+ 3.3%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2024年3月12日発表

	2023年度	2024年度
全産業	▲ 13.8%	+ 16.2%
製造業	+ 27.9%	+ 27.8%
非製造業	▲ 23.5%	+ 9.4%

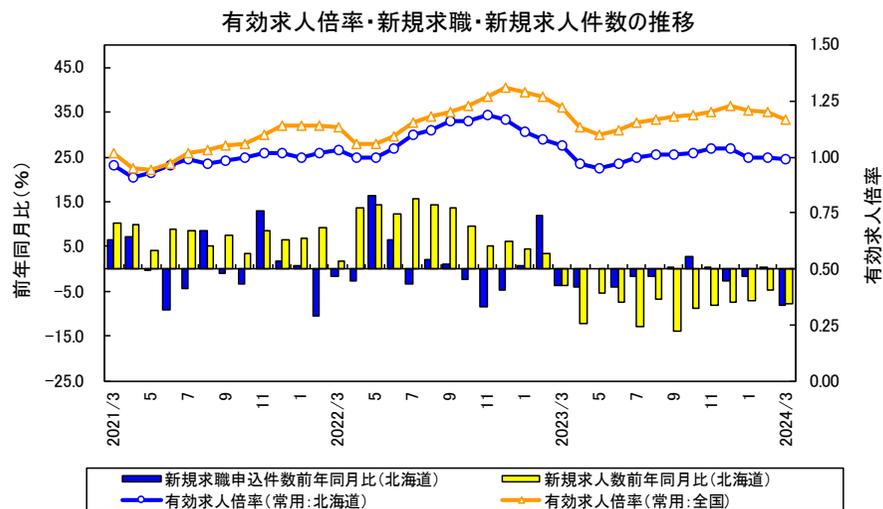
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ~ 弱含んでいる ~

3月の有効求人倍率は、0.99倍と前年同月差0.06ポイント低下し、12か月連続で前年を下回った。

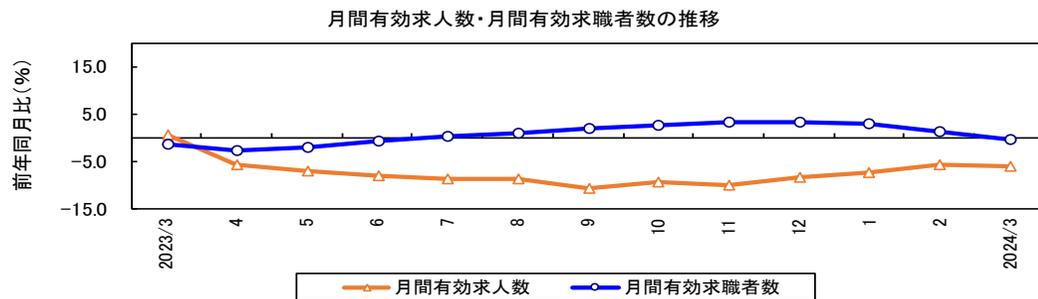


< 3月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.99倍
	新規求人件数(前年同月比)	▲ 7.7%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 8.2%
全国	有効求人倍率(常用)	1.17倍

< 3月 >

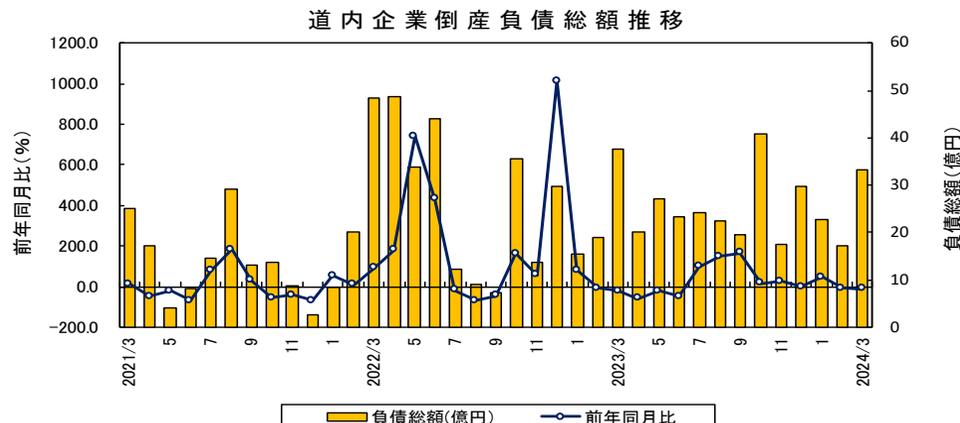
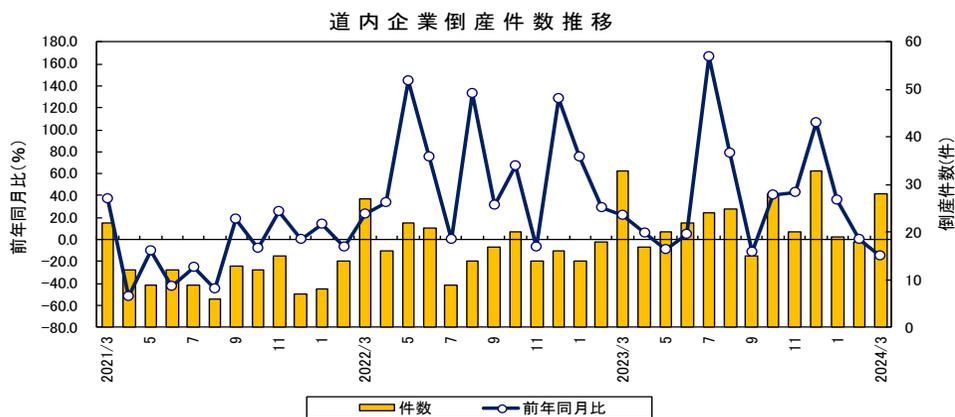
月間有効求人件数(前年同月比)	▲ 6.0%
月間有効求職者数(前年同月比)	▲ 0.3%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ~ 件数、負債総額とも減少した ~

3月の倒産件数は28件で、前年同月比▲15.2% (5件減) と6か月ぶりに前年を下回った。また、負債総額は33.2億円で、同▲12.0%と2か月連続で前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)